

「公共施設のあり方検討委員会」答申後の取り組み状況等について

群馬県立歴史博物館

1 施設の必要性について

歴史博物館は、本県の歴史文化に係る研究・社会教育の中心施設として、数多くの県民に利用されており、その設置目的は、今日においても失われておらず、教育的効果も高い施設と考える。本施設の今後のあり方としては、継続とすべきである。

歴史学習の場として、県内の約半数の小学校に利用されるとともに、多くの県外の小学校にも利用されている。また、観覧だけでなく、体験学習にも力を入れており、学校教育の支援や親子への歴史学習の場としても、多くの参加者を集めている。

なお、県内博物館の拠点として、83の博物館が加盟する群馬県博物館連絡協議会の取りまとめ役を担っていることから、引き続き県内における連携を強化するとともに、県外博物館との幅広い連携についても、検討していく必要がある。

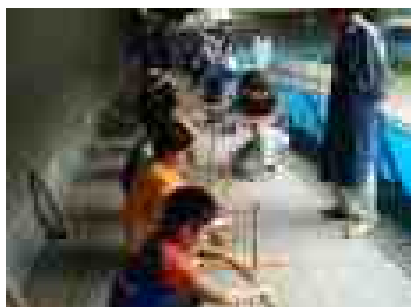
(答申後3年間の取り組み状況)

- ・群馬県の歴史文化に係る企画展や他館・大学との共催で県民の関心が高い「国宝・重要文化財洛中洛外図屏風展」を実施するなど、多くの観覧者を得る努力を行った。
- ・学校団体の利用促進を図るため、学校のニーズを取り入れながら、学習プログラムや体験学習プログラムの開発に努め、県内外の学校に「学校向け利用案内」を配布するなど広報活動を積極的に行った。
- ・親子で歴史を楽しめる場として、「わくわく体験」や「れきはく七不思議」といった体験プログラムを企画・実施し、多くの利用者を得る努力を行った。
- ・県内博物館のまとめ役として、「群馬の博物館・美術館ハンドブック」発行、「ぐんまの博物館・美術館」「国際博物館の日キャンペーン」などの実施により、博物館相互の連携の強化に努めた。
- ・県内外の博物館との共催による共同展を開催した。

○学校団体向けプログラム



学習プログラム
歴史探検「古墳コース」

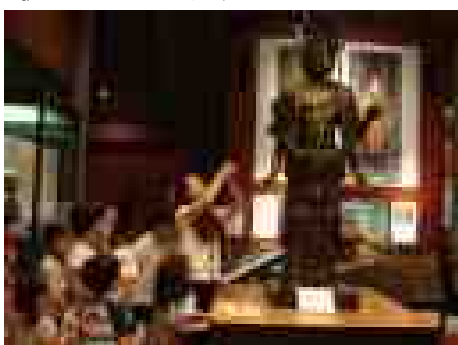


体験学習プログラム
火おこし体験「舞ギリ」



体験学習プログラム
石うす体験

○親子向けプログラム



れきはく七不思議



わくわく体験「かざぐるま」

結果

入館者数は、平成22年度は、平成21年度開催の30周年記念展で多くの入館者があったため、相対的に減少した。平成23年度は、8月下旬に企画展示室において博物館資料の水滴染み事故を引き起こしたことにより、常設展示は、学校団体の利用を除き10月以降の一般公開を中止、12月以降実施予定の特別展示などを中止したため入館者数の大幅な減少を招いた。平成24年度は、常設展示のみの公開となったため入館者は減少した。

学校団体の利用については、平成22, 23年度は、学習プログラムや体験学習プログラムの提供により参加者が増加した。特に、平成23年度については、震災の影響で都内の学校利用が増加した。平成24年度は通常の状態に戻ったため23年度と比較すると減少した。

また、親子向け体験プログラムについては、平成22年度は参加者が増加したが、平成23年度は休館の影響で参加者は大幅に減少した。平成24年度は、通常の入館を行ったため増加した。

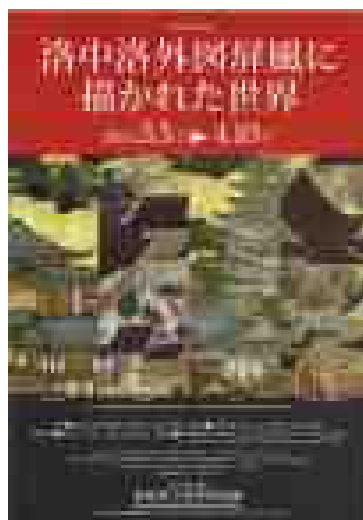
群馬県博物館連絡協議会の活動については、関係施設との連携により事業が円滑に実施できた。

・入館者数の推移

年度	24年度	23年度	22年度	備考
入館者数 (前年度比)	70, 852人 (△7.4%)	76, 554人 (△7.2%)	82, 512人 (△16.1%)	

・企画展における観覧者数状況

企画展名	会 期	観覧者数
第88回企画展 粉もの上州風土記	H22. 4. 29～ 8. 29 (107日)	30, 163人
第89回企画展 群馬の肖像Ⅲ	H22. 10. 2～11. 28 (50日)	10, 323人
第90回企画展 国宝・重要文化財 洛中洛外図屏風展	H23. 3. 5～ 4. 10 (31日)	10, 567人
第91回企画展 親鸞と妙安寺	H23. 4. 23～ 6. 19 (51日)	14, 340人
第92回企画展 関東戦国の大乱	H23. 7. 16～ 9. 18 (57日)	13, 815人



取り組み期間中に開催した主な企画展

・学校団体受入数の推移

年度	24年度	23年度	22年度
受 入 数	218校 (△5.6%)	231校 (+14.9%)	201校 (+9.8%)
(前年度比)	14, 609人 (△15.6%)	17, 307人 (+31.8%)	13, 130人 (+11.1%)

・学校団体体験学習参加者数の推移

年度	24年度	23年度	22年度
参 加 数	177校 (+6.0%)	167校 (+21.0%)	138校 (△0.7%)
(前年度比)	13, 081人 (+0.6%)	13, 005人 (+27.9%)	10, 165人 (+4.7%)

・学校団体対応学習プログラム参加者数の推移

年度	24年度	23年度	22年度
参加数	148校 (+2.6%)	139校 (+28.7%)	108校 (△6.1%)
(前年度比)	10,225人 (△4.2%)	10,671人 (+27.9%)	8,342人 (+3.8%)

・親子向け「わくわく体験」参加者数の推移

年度	24年度	23年度	22年度
参加者数 (前年度比)	21,615人 (+29.9%)	16,643人 (△20.7%)	20,980人 (+3.0%)

・親子向け「れきはく七不思議」参加者数の推移

年度	24年度	23年度	22年度
参加者数 (前年度比)	699人 (+78.3%)	392人 (△50.3%)	789人 (+157.0%)

・「群馬の博物館・美術館ハンドブック2011-2012」、12,000部発行 (H22作製)

「群馬の博物館・美術館ハンドブック2013-2014」、24,000部発行 (H24作製)



群馬の博物館・美術館ハンドブック2013-2014

・「ぐんまの博物館美術館」開催

H22 観覧者:1,995人、会場：富岡製糸場 (9日間)

H23 観覧者: 142人、会場：玉村町歴史資料館 (7日間)

H24 観覧者: 447人、会場：前橋市総合教育プラザ (12日間)

・「国際博物館の日」事業に参加。オリジナルグッズプレゼントキャンペーン実施
応募者数 H24：129人、H23：133人、H22：103人

・共同企画展開催

第90回企画展「洛中洛外図屏風展」 3館連携巡回展

第92回企画展「関東戦国の大乱」 北関東3県及び県内10資料館連携

2 管理運営方法について

- ①開館以来、常設展示室の基本レイアウトを変えておらず、観覧者の増加を図る観点から、展示内容や展示方法について見直す必要がある。特に、小学生の利用が多い施設であることから、子どもたちから見やすくするなど、関心を高めるような工夫に努められたい。
- ②学校利用について、職員が学校現場に積極的に行くなど、教育普及の充実により一層努められたい。
- ③多くのボランティアを活用しているが、より観覧者の理解を深め、関心を高めるため、展示の解説にも対応できるようなボランティアの養成について検討する必要がある。
- ④歴史博物館と近代美術館は生活文化部、群馬の森は県土整備部と、県の内部で所管部署・管理方法が分かれているが、管理運営経費の節減や、住民サービスの向上を図るため、施設相互の連携方法等について検討する必要がある。

(答申後3年間の取り組み状況)

- ・子どもにやさしい展示を目指し、「昭和の暮らしコーナー」(教室等)の設置、読みやすいキャプションや子ども向けパネルの設置、パズルなどの体験コーナーの設置を行った。
- ・県内小中学校への出張授業として「歴史デリバリー教室」を実施した。
- ・幼・保育園へのお出かけ体験として「お出かけ体験」を実施した。
- ・夏休み期間中、展示室の体験コーナーに資料説明、体験補助として、高校生解説ボランティアを配置した。
- ・群馬の森、歴史博物館、近代美術館の三者による「群馬の森三者連携協議会」を平成22年3月2日に発足させ、毎月1回協議会を開催し情報共有を図るとともに、三者連携による夏休みイベントを開催した。

○出張授業



学校向け歴史デリバリー教室「浮世絵」



幼・保育園向けお出かけ体験「ミニ凧」

結果

- 出張授業「歴史デリバリー教室」の推移

年度	24年度	23年度	22年度	備考
参加数 (前年度比)	19校(△9.5%)	21校(+16.7%)	18校	※平成22年度より実施のため、22年度は前年度比なし
	926人(△15.0%)	1,089人(+26.2%)	863人	

- 幼・保育園へ出張授業「お出かけ体験」の推移

年度	24年度	23年度	22年度	備考
参加数 (前年度比)	49園(+4.3%)	47園(+27.0%)	37園	※平成22年度より実施のため、22年度は前年度比なし
	1,395人(△3.0%)	1,438人(+24.1%)	1,159人	

- 高校生解説ボランティアの配置

年度	24年度	23年度	22年度	備考
人数	32人	22人	9人	

- 三者連携協議会主催夏休みイベント参加者

平成23年7月31日、8月13日、20日、27日の4回実施

計100名参加

平成24年7月29日、8月11日、18日の3回実施

計17家族53名参加

3 管理運営主体について

県直営による管理運営が適当であると考えているが、民間のノウハウを活用する観点から指定管理者制度について、他県での導入、活用状況など、情報収集に努められたい。

(答申後3年間の取り組み状況)

- 平成24年度に都道府県立の博物館・美術館・文学館等（登録博物館及び博物館相当施設）における指定管理者制度の導入状況について全国調査を行い、導入状況の検証を行った。

結 果

指定管理者制度の全国調査の結果は、これまで直営としていた施設はほとんどが当面は直営を継続する方針であり、従前に管理委託で運営していた施設については、おおむね指定管理者制度を導入している。なお、調査結果、メリット・デメリットを比較検討した結果、歴史博物館は当面直営で運営することとしている。

- 全国調査結果（平成24年度）

区 分	直営施設	指定管理者制度導入施設		備 考
		公募	非公募	
調査143施設	102施設 (71.3%)	31施設 (21.7%)	10施設 (7.0%)	(指定管理者制度導入施設の運営団体別内訳) 民間18、公益財団法人等23